

厚生科学研究研究費補助金  
新興・再興感染症研究事業

新興・再興感染症研究事業の企画及び評価に関する研究

平成10年度 総括研究報告書

主任研究者 山崎 修道

平成11（1999）年4月

厚生科学研究費補助金（新興・再興感染症研究事業）  
総括研究報告書

新興・再興感染症研究事業の企画と評価に関する研究

主任研究者 山崎 修道 国立感染症研究所長

研究要旨

新興・再興感染症研究の専門家からなる委員会を設け、新興・再興感染症研究事業の適正かつ円滑な実施を図った。

A 研究目的

諸外国の新興・再興感染症研究に劣らぬ研究を実施するためには、適切な課題の設定、最適な研究者の選考、公正な研究費の配分、そして厳密な研究成果の評価が必要不可欠であり、感染症研究の専定門家からなる委員会で行う。

B 研究方法

新興・再興感染症研究の専門家である研究者を委員とする中間・事後評価委員会及び事前評価委員会を組織し、1) 研究者の選考及び研究費の配分審査の決定、2) 研究課題の設定、並びに3) 研究成果の評価・採択を行った。そのため中間・事後評価委員及び事前評価委員は、それぞれ専門分野の最新の知見の収集を行った。

C 研究結果

- 1) 平成11年度の継続申請研究課題の中間評価を行ったところ、すべて適切に進められていた。
- 2) 平成11年度新興・再興感染症研究事業における課題採択方針（案）を策した。
- 3) 平成11年度分新規申請課題の評価を行って次のとおりに絞り込んだ。

| 区 分 | 申請数 | 採択数 |
|-----|-----|-----|
| 課 題 | 50  | 6   |

平成10年度厚生科学研究費補助金（新興・再興感染症研究事業）採択課題

1 O157等腸管出血性大腸菌感染症に関する研究

| 主任研究者 | 所属施設             | 職名  | 研究課題名                                       |
|-------|------------------|-----|---|
| 伊藤 拓  | 国立小児病院           | 副院長 | 腸管出血性大腸菌（VTEC）感染に伴う溶血性尿毒症症候群（HUS）の病体と治療法の研究 |
| 高橋 元秀 | 国立感染症研究所細菌・血液製剤部 | 室長  | Vero毒素のトキソイドワクチンの開発とO157感染症発症防止に関する研究       |
| 名取 泰博 | 国立国際医療センター       | 室長  | 病原性大腸菌O157感染症の迅速診断法の開発と発症機構に関する研究           |
| 渡辺 治雄 | 国立感染症研究所細菌部      | 部長  | O157感染症の菌学的特性に基づく動向調査に関する研究                 |
| 佐藤 成大 | 岩手医科大学細菌学講座      | 教授  | O157等腸管出血性大腸菌感染症に関する研究                      |

2 インフルエンザ等の呼吸器感染症に関する研究

|       |                 |    |   |
|-------|-----------------|----|---|
| 神谷 齋  | 国立療養所三重病院       | 院長 | ワクチン等による予防・治療に関する研究（インフルエンザワクチンの効果に関する研究） |
| 田代 真人 | 国立感染症研究所ウイルス製剤部 | 部長 | インフルエンザ大流行に備えた危機管理対策の確立に関する研究             |
| 根路銘国昭 | 国立感染症研究所ウイルス第一部 | 室長 | パンデミー・間パンデミーインフルエンザのサーベイランスに関する調査研究       |

3 クリプトスポリジウム等の水系由来感染症に関する研究

|       |              |    |   |
|-------|--------------|----|---|
| 国包 章一 | 国立公衆衛生院水道工学部 | 部長 | 水道水を介して感染するクリプトスポリジウム及び類似の原虫性疾患の監視と制御に関する研究 |
|-------|--------------|----|---|

4 ハンセン病に関する研究

|       |                           |    |                        |
|-------|---------------------------|----|------------------------|
| 柏原 嘉子 | 国立感染症研究所ハンセン病研究センター病原微生物部 | 部長 | ハンセン病の発症に関わるらい菌の生物学的特性 |
|-------|---------------------------|----|------------------------|

| 主任研究者 | 所属施設                          | 職名 | 研究課題名                          |
|-------|-------------------------------|----|--------------------------------|
| 小林 和夫 | 国立感染症研究所ハンセン病研究センター<br>一生体防御部 | 部長 | ハンセン病発症における宿主防御機構の解明とその治療・予防応用 |

#### 5 劇症型A群レンサ球菌感染症に関する研究

|       |                  |    |                      |
|-------|------------------|----|----------------------|
| 大国 寿士 | 日本医科大学老人病研究所免疫部門 | 教授 | 劇症型A群レンサ球菌感染症の分子発症機構 |
|-------|------------------|----|----------------------|

#### 6 レジオネラ症に関する研究

|      |         |    |                                 |
|------|---------|----|---------------------------------|
| 斉藤 厚 | 琉球大学医学部 | 教授 | レジオネラ感染症の新しい診断技術の開発とその標準化に関する研究 |
|------|---------|----|---------------------------------|

#### 7 結核に関する研究

|        |                  |    |   |
|--------|------------------|----|---|
| 森 享    | (財)結核予防会結核研究所    | 所長 | 再興感染症としての結核対策のあり方に関する総合的研究                |
| 山本 三郎  | 国立感染症研究所細菌・血液製剤部 | 室長 | 結核症及び非結核性抗酸菌症における生体防御機構の解明とその予防・診断・治療への応答 |
| 阿部 千代治 | (財)結核予防会結核研究所    | 部長 | 薬剤耐性結核のサーベイランス耐性の分子機構及び多剤耐性結核の治療に関する研究    |

#### 8 非A非B型肝炎に関する研究

|       |                       |    |                     |
|-------|-----------------------|----|---------------------|
| 吉澤 浩司 | 広島大学医学部               | 教授 | 非A非B型肝炎の予防、疫学に関する研究 |
| 飯野 四郎 | 聖マリアンナ医科大学内科学・消化器肝臓内科 | 教授 | 非A非B型肝炎の臨床的総合研究     |

#### 9 寄生虫・原虫由来感染症に関する研究

|       |            |    |                               |
|-------|------------|----|-------------------------------|
| 太田 伸生 | 名古屋市立大学医学部 | 教授 | 住血吸虫症の感染防御免疫とその予防・治療的応用に関する研究 |
| 鈴木 守  | 群馬大学医学部    | 教授 | マラリアの病態疫学と対策に関する基礎的研究         |
| 大村 智  | (社)北里研究所   | 所長 | 抗マラリア剤の探索研究                   |

#### 10 食品由来感染症に関する研究

| 主任研究者 | 所属施設               | 職名 | 研究課題名  |
|-------|--------------------|----|--|
| 熊谷 進  | 国立感染症研究所食品衛生微生物部   | 部長 | 食中毒菌の検出方法、食品汚染の実態とその制御に関する研究                             |
| 小沼 博隆 | 国立医薬品食品衛生研究所衛生微生物部 | 室長 | 調理施設と食品製造業における衛生管理に関する研究                                 |
| 田村 和満 | 国立感染症研究所細菌部        | 室長 | 大規模化する食中毒原因菌の疫学的指標としてのDNA型別、ファージ型別等の応用と新しい迅速型別法の開発に関する研究 |
| 武田 直和 | 国立感染症研究所ウイルス第二部    | 部長 | 下痢症ウイルスの検出法、予防法汚染指標および疫学に関する研究                           |
| 小熊 恵二 | 岡山大学医学部            | 教授 | 食餌性ポツリヌス中毒及び乳児ポツリヌス症に関する研究                               |

#### 11 血液由来感染症・性感染症に関する研究

|       |                |      |                                     |
|-------|----------------|------|-------------------------------------|
| 熊本 悦明 | 札幌医科大学医学部      | 名誉教授 | 本邦における性感染症に関するセンチナル・サーベイランス施行の基礎的検討 |
| 小室 勝利 | 国立感染症研究所安全性研究部 | 部長   | 接触及び血液由来感染症の防御対策に関する研究              |
| 園田 俊郎 | 鹿児島大学医学部       | 教授   | 成人T細胞白血病(ATL)の発症予防と治療に関する総合的研究      |

#### 12 薬剤耐性菌感染症に関する研究

|       |                   |    |                                  |
|-------|-------------------|----|----------------------------------|
| 荒川 宣親 | 国立感染症研究所細菌・血液製剤部  | 部長 | 薬剤耐性菌による感染症のサーベイランスシステムの構築に関する研究 |
| 岡部 信彦 | 国立感染症研究所感染症情報センター | 室長 | 薬剤耐性菌感染症症例情報ネットワーク構築に関する研究       |
| 藤原 博  | 国立感染症研究所細菌・血液製剤部  | 室長 | 細菌の薬剤耐性機構の分子解析と耐性機序別迅速検出法に関する研究  |
| 堀田 国元 | 国立感染症研究所生物活性物質部   | 室長 | 我が国における施設内感染等のあり方に関する研究          |

1 3 人畜（獣）共通感染症・節足動物媒介感染症に関する研究

| 主任研究者 | 所属施設                   | 職名     | 研究課題名                                |
|-------|------------------------|--------|--------------------------------------|
| 池田 和彦 | 東京都精神医学総合研究所超微形態研究部門   | 副参事研究員 | ボルナ病ウイルス感染の実態に関する疫学的ウイルス学的研究         |
| 金澤 保  | 産業医科大学医学部              | 教授     | 流行域が拡大しつつあるエキノコックス症の監視・防遏に関する研究      |
| 倉根 一郎 | 国立感染症研究所ウイルス第一部        | 部長     | デングウイルス及び日本脳炎ウイルスに対する新型ワクチンの開発に関する研究 |
| 品川 森一 | 帯広畜産大学畜産学部             | 教授     | プリオン病の高感度診断技術の開発                     |
| 高島 郁夫 | 北海道大学大学院獣医学研究科         | 教授     | ダニ媒介性新興感染症の疫学、発症機序及び予防法に関する研究        |
| 山田 章雄 | 国立感染症研究所筑波医学実験用霊長類センター | センター長  | 霊長類を介する人畜共通感染症の制御に関する研究              |
| 吉川 泰弘 | 東京大学大学院                | 教授     | 輸入動物及び媒介動物由来人畜共通感染症の防疫対策に関する総合的研究    |
| 平井 克哉 | 岐阜大学農学部                | 教授     | リケッチアによる新興・再興感染症の疫学、診断及び予防に関する研究     |
| 渡辺 彰  | 東北大学加齢医学研究所            | 助教授    | Q熱による呼吸器感染症の国内での発症状況及び病像に関する研究       |

1 4 感染症発生動向調査等に関する研究

|       |                   |       |  |
|-------|-------------------|-------|--|
| 井上 榮  | 国立感染症研究所感染症情報センター | センター長 | 感染症のサーベイランス及び感染症情報に関する研究並びに包括的感染症情報システムの構築に関する研究 |
| 益川 邦彦 | 神奈川県衛生研究所         | 所長    | 地方衛生研究所における感染症サーベイランス情報の解析に関する研究                 |
| 宮崎 久義 | 国立熊本病院            | 院長    | 新興再興感染症のサーベイランス及び感染症情報システムの導入に関する調査              |

| 主任研究者 | 所属施設            | 職名 | 研究課題名   |
|-------|-----------------|----|---|
| 宮村 達男 | 国立感染症研究所ウイルス第二部 | 部長 | 感染症発生動向調査等に関する研究（ポリオ根絶のための小児AFPサーベイランスの体制の確立） |

1 5 病原体系統株保存に関する研究

|       |          |      |                                      |
|-------|----------|------|--------------------------------------|
| 森次 保雄 | 国立感染症研究所 | 名誉所員 | 微生物系統株の収集・保存事業（感染症ライブラリー）の構築に関する調査研究 |
|-------|----------|------|--------------------------------------|

1 6 新しい診断・治療・予防技術の開発・標準化に関する研究

|       |               |    |              |
|-------|---------------|----|--------------|
| 田村 慎一 | 国立感染症研究所感染病理部 | 室長 | 粘膜免疫機構の基盤と応用 |
|-------|---------------|----|--------------|

平成11年度新興・再興感染症研究事業における課題採択方針

- 1 O157等腸管出血性大腸菌感染症とその合併症の疫学、診断、治療等に関する研究
- 2 インフルエンザ等の呼吸器感染症の疫学、診断、治療等に関する研究
- 3 クリプトスポリジウム等の水媒介感染症の疫学、診断、治療等に関する研究
- 4 激症型A群レンサ球菌感染症の疫学、診断、治療等に関する研究
- 5 結核の疫学、診断、治療等に関する研究
- 6 レジオネラ症の疫学、診断、治療等に関する研究
- 7 非A非B型肝炎の疫学、診断、治療等に関する研究
- 8 マラリアの疫学、予防技術、診断、治療等に関する研究
- 9 日本住血吸虫、フィラリア、腸管寄生虫等世界の寄生虫疾患の疫学、診断、治療等に関する研究
- 10 エキノコックス、赤痢アメーバ等日本の寄生虫疾患の疫学、診断、治療等に関する研究
- 11 薬剤耐性菌感染症の疫学、診断、治療等に関する研究
- 12 食品由来感染症の疫学、診断、治療等に関する研究
- 13 血液由来感染症・性感染症の疫学、診断、治療等に関する研究
- 14 人畜（獣）共通感染症・節足動物媒介感染症の疫学、診断、治療等に関する研究
- 15 ハンセン病の疫学、診断、治療等に関する研究
- 16 感染症発生動向調査等に関する研究
- 17 病原体系統株保存に関する研究
- 18 新しい診断・治療・予防技術の開発・標準化に関する研究



新興・再興感染症研究事業平成11年度新規採択課題

| 氏名    | 所属                     | 職名  | 研究課題名  |
|-------|------------------------|-----|--|
| 岡田 全司 | 国立療養所近畿中央病院臨床研究部       | 部長  | 抗結核キラーTリンパ球とリコンビナントBCG・DNAワクチンの開発による新しい予防・診断・治療法 |
| 相川 正道 | 東海大学総合医学研究所            | 教授  | 抗マラリア薬の複合投与による相乗効果に関する基礎的研究                      |
| 北 潔   | 東京大学大学院医学系研究科          | 助教授 | 新規抗トリパノソーマ薬アスコフラノンの実用化                           |
| 竹内 勤  | 慶應義塾大学医学部              | 教授  | わが国におけるアメーバ症の実態の解明と対策確立に関する研究                    |
| 牧野 壮一 | 帯広畜産大学畜産学部獣医学科家畜微生物学教室 | 助教授 | 炭疽菌の発症機構の解明と迅速検出法の確立                             |
| 林 英生  | 筑波大学医学専門学群             | 教授  | サルモネラの診断・予防法の開発                                  |